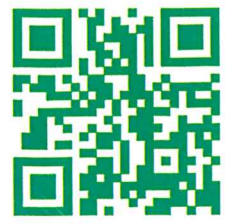


お互いを最大限に尊重する
 パジパチジャーナル
 NEWS LETTER #019
 (2018年1月)
 自分の存在は自分で決める

2018年 ワークショップ
 上期 スケジュール



- 2月10-11日 クラスのちからを生かす
 -クラスを支えるメソッド-コトワケト
- 2月17-18日 アドバンスド AP (A-AP2)
 -アドバンス設計新編
- 2月22-25日 テクニカル アドバンスド フェリス (TAS)
 PA体験会
- 3月11日 クラスのちからを生かす
- 3月25日 -クラスのちからを生かす

AITC ~先生のあり方を
 探す旅~

Adventure In The Classroom

2017年12月24~26日、トキワ松学園(東京)で AITCが開催されました。先生として、自分(は)はどちらの立ち位置にいるのか、そして、それは10年後、どのような姿として自分を残さざるのか、アドベント体験やインビュ-、グループディスカッション、アドベントツアー 深々考える3日間になりました。参加者のフットからは自分を見つめ直すことができた「自分の信念や使命を考えたとき、かけにたがった」こと、自分への気づきがたくさん生まれてきたことがわかります。ファシリテーターの采にもどんどん深まっていく参加者の方々の様子が「観」が身震いするほど伝わってきました。10年後、あったい自分にたがれた自分と、また深々話してみたいです。AITCは自分と学校の「未来」のことを考えるワークショップです。(KAI)

PAJ 後援!
 アドバントチャー教育フェス.

アドバントチャー教育フェス。(以下アドフェス)を主催する藤 穂穂亮ニさん(リジョウせん)にアドフェスにかける想いに聞いて聞きました。

「2014年に「おもいろいこ」としていいね」から始まったアドフェスですが、「モリ一回、僕らが楽しいことをしたい...」 今回の出展もそんな思いが込められていた。僕自身もワークショップや研修会を通して沢山の仲間から刺激をもらって、アドバントチャーが生まれ、一緒に仕事をしていたり、アドバントチャーが合、たいていきました。アドフェスを通して僕たちが出会ってきた、破天荒な人たちがアドバントチャーだと思、ています。PAを知らない人も、学生も、若い先生にもたくさん来て欲しいですね。

今回、学校教育外で活躍している方たちに講師として来ていただいたので、ぜひこの機会を使、てアドバントチャーが、て欲しいです!
 「アドバントチャー教育」や PA は自分の生き方や生活の仕方に関係するものだと思います。僕は手法として仕事の現場で使、います。あなたが問われるなと思、ています。そんなPA 的感覚と出会、て欲しいです」

日時: 2018年3月3~4日

場所: ハ王子セミナーハウス

申込み:



https://adventurefes.com
 *PAJからも講師派遣と
 物品販売をします!

PAニュースレター
 メール配信

ご希望の方は
 news@pajapan.com
 まで氏名・所属を
 お送りください。